

「夜叉ヶ池」参考資料のご案内

新国立劇場でのご観劇前に作品に対する理解の一助として、また、観劇後の感動をさらに深めるために、5階情報センター閲覧室にてご覧いただける参考資料を紹介します。ぜひお気軽にお立ち寄りください。

開室時間：10:00～18:00 月曜休室(祝休日及び主催公演日は他曜日に振替)

公演プログラム

1998/1999 SEASON オペラ『天守物語』(1999.2)

原作：泉鏡花 台本：金窪周作 補作：まえた純 作曲：水野修孝

2010/2011 SEASON 演劇『天守物語』(2011.11)

作：泉鏡花 演出：白井晃

参考図書

<原作>

泉鏡花集成7 種村季弘＝編／ちくま文庫 1995年発行

あやかしの世界から人情噺まで、最も鏡花らしい作品を収録。種村氏による世界文学を視野に入れた読みごたえある解説を付した、全14巻のシリーズ。7巻は「夜叉ヶ池」を含む16編を収める。

鏡花小説・戯曲選 第11巻 戯曲編I 寺田透・村松定孝＝編／岩波書店 1995年発行

泉鏡花の著作から名作60篇を選び抜き、新しい観点からの解説を付した、全12巻のシリーズ。第11巻は「夜叉ヶ池」を含む戯曲4編を収める。

鏡花全集 巻二十五 泉鏡太郎＝著／岩波書店 1988年発行

全28巻別巻1巻のシリーズ。第25巻は初版1942年8月31日刊行で、「夜叉ヶ池」を含む8編を収める。

<泉鏡花関連>

鏡花怪異小品集 おばけずき 泉鏡花＝著／東雅夫＝編／平凡社 2012年発行

「泉のやつ、またはじまった」と仲間にいわれるほど無類のおばけずき。長短篇小説や戯曲で名高い鏡花だが、一方で怪異にまつわる小品群もまた格別に味わい深い。小説をはじめ、随筆・紀行、創作とも実話ともつかない逸品まで、喜々として異界に遊ぶ鏡花文学の知られざる真髄を編む。

泉鏡花 佐伯順子＝著／ちくま新書 2000年発行

泉鏡花は劇的である。血なまぐさくも美しく、おどろおどろしくも繊細なその世界は、私たちの目に耳に、直接訴えかけてくる。だから、鏡花を語るには、「文学」研究という限られた領域だけではすまされない。実際、鏡花作品は、舞台化・映画化されるたびに、新しく生まれ変わってきた。本書では、映画化・舞台化作品と比較することで、視聴覚的な要素を取り込んだ豊饒なる泉鏡花—その文字どおりドラマティックな世界に切り込む。(第2章:「夜叉ヶ池」についての評論。)

泉鏡花伝 一生涯と作品一 荒川法勝＝著／昭和図書出版 1981年発行

泉鏡花 美とエロスの構造 笠原伸夫＝著／至文堂 1976年発行

泉鏡花研究 村松完孝＝著／冬樹社 1974年発行

<作曲家関連>

二期会日本歌曲研究会 委嘱作品集1 全音楽譜出版社 2012年発行

オペラ「夜叉ヶ池」を作曲した香月修を含む日本の代表する5人の作曲家による新しい日本の歌曲作品集。日本歌曲の振起・普及に力を注ぎ込んでいる二期会日本歌曲研究会の委嘱による。

公演記録映像

オペラ『天守物語』(1999.2.13)【字幕入り】